

おおつる交流センター便り よろこびえ

No.7

平成29年10月11日
大津留まちづくり
協議会発行
Tel:080-7989-1497

第5回おおつるマーケット開催

9月24日(日)に第5回おおつるマーケットを開催。お彼岸ということもあり、いつも以上に子どもたちの多いにぎやかなマーケットになりました。

今回は地域の方の出店も多く、野菜や果物が所狭しと並びました。また、小松台から有機野菜の「竹林畑」さんが初出店されました。

回を重ねるとに単なる市場でなく、人々との交流の場になつていくように感じました。



ワッハッハで健康に

9月27日(水)、随善寺 瀬口において「笑いヨガ」体験会を開催。幸野千恵さん指導の下、総勢30名にお越しいただきました。

子ども時代の呼び名の名札を付け、ハハハ、フーフと笑いながら振り付け童謡を歌ったり、スキンシップでお互い触れ合いながら、笑いを通して自分を解放できる楽しさを感じていました。



おおつるのひとこと⑤

今回は当協議会会計の阿部 素久さん(あべ もとひさ) 41歳 瀬口(すゑ)です。



1. 経歴を教えてください。
—平成19年、JAへ転職を機に移住。2年後には大津留振興会に入り、その後、継続して関わっている。大分市内の大規模校で育ったが、街の暮らしが好きになれず、子どもたちには少人数の学校で教育を受けさせたいと思っていた。息子と娘が大津留小学校に通い、最後にPTA会長を務めた。

2. どんな大津留地区にしたいですか？
—小学校が閉校したのは本当に残念だが、まちづくりのモデル地区としてさまざまな活動に利用できるようになった。10年後、子どもたちがいらない地域にならないよう、若い人が集まることのできる場を作りたい。20代、30代の方にもまちづくりに参加していただければうれしい。

一次産業×デザイン

10月6日(金)、交流センター体育館において高知在任のデザイナー、梅原真さんの講演会が開催されました。市内外から約120名の参加者が集まり、熱心に聴講されていました。講演会の後、旧職員室で交流会も開かれ、畑のレストランひだまりさんの料理に皆さん舌鼓を打たれていました。



9月下旬に福岡県内の中学生5名がグリーンツーリズム農泊で我が家に宿泊。大根の種まき、栗拾い、かまど体験…みな新鮮だったようです。教育旅行やインバウンド、需要はあるけど由布市の受入先が追いついていないのが現状。皆さんも始めてみませんか。(あ)